# Green Letter

Green Column グリーンコラム

- 01 サケがいない今年の川だけど
- 02 今年も会いたい植物





町田善康《雪まみれの顔がカワイイ》

#### Photo 今月の1枚

森の中を歩いていると、1匹のキタリス(エゾリス)に出会いました。とっても寒い朝な のに、そんな寒さはものともせず、雪をほじくっていました。おそらく、秋に埋めた木の 実などを探しているのでしょう。その時、ふと顔を上げると雪まみれ。思わず「カワイイ」 と笑みがこぼれました。(町田善康)



### **O1** Green Column グリーンコラム

## サケがいない 今年の川だけど

写真•文/町田善康

幌町内を流れる美幌川には、 毎年たくさんのサケが遡上 し、自然産卵します。しかし、今年は、 どういうわけか秋になってもほとんど サケが遡上してきませんでした。いつ もだったら足の踏み場もないほどサケ であふれるあの川も、この川も全くサ ケがいないのです。

ところが、12月上旬になると、突然たくさんのサケが遡上してきました。その後、年を越してもサケを見ることができ、こんなに寒い時期までサケが見られたのも、これまた初めての年になりました。

では、なぜ今年はサケの遡上が少なかったのでしょうか?実は、美幌川を含む網走川水系では、網走市内にある下流の捕獲場でサケを捕まえ、上流の津別町相生と上里にある孵化場で人工授精を行い、サケの稚魚を育てています。例年だと、大雨などによる増水で

捕獲場に設置した簗(やな:サケを捕獲するための罠)を外します。そのタイミングにサケが遡上できていましたが、今年は雨が少なく、簗が外れず遡上の機会がなかったのです。そのため、美幌川に遡上するはずのサケも一緒に簗で止められ、遡上できていなかったわけです。

しかし、12月に入り人工授精用の 予定採卵数が確保できると、築が外されると同時にサケが大量に遡上しました。おかげで、美幌川でもたくさんのサケが産卵しました。いつものように産卵するサケを見てホッとするとともに、来春、無事に孵化してくれることを祈るばかりです。

### **02** Green Column

### 今年も 会いたい植物

写真・文/城坂結実



なんとなく日差しに春を感じるようになりました。春を間近にすると、今年も出会いたい!植物を思い浮かべて、ワクワクします。

昨年、美幌町登栄地区の森を調査した時のこと。7月中旬、笹藪をかき分けながら歩いていたところ、ばったり出くわして、ヒッと驚いた植物があります。それは、ギンリョウソウ。植物を見て驚くなんて…と不思議に思う方もいらっしゃるかもしれませんが、ギンリョウソウはユウレイタケ(幽霊茸)の異名を持ち、その姿形は一般的な植物とかけ離れています。

ギンリョウソウは、緑色の茎や葉を持たず、全体は透明に近い白色。しかも、花は首をもたげるようにやや俯き加減で開き、花の中心にある雌しべは目玉のよう。幽霊の名に恥じることのない外見です。

と、ここまで書いてから、私が出会っ

た写真の植物は、ギンリョウソウによく似たシャクジョウソウだということに気がつきました。植物愛好家の皆さんは、ここまでハラハラしながら読んでくださったに違いありません。

ギンリョウソウは花が1個で雌しべの先は黒色なのに対して、シャクジョウソウは花が数個つき、雌しべの先は黄色。危うく間違えるところでした。

シャクジョウソウやギンリョウソウ が緑色をしていないのは、根に住む菌 根菌を経由して栄養を補うので、光合 成を行う必要がないから。植物もあの 手この手で、命を繋いでいます。

今年は、出会っても驚かないように 心積りをしてから、シャクジョウソウ のいる森に出かけたいと思います。

### **Exhibition** 展示

企画展「~美幌町の小中学生による~博物館冬季作品展」 3月2日(日)まで

#### ロビー展「ひな祭りとひな人形」

3月2日(日)まで

#### 特別展「蛍が舞う風景」

3月29日(土)~10月26日(日)まで

### **Event** イベント 持ち物等は申込時にご確認ください

#### スノーシューレンタル

3/30 (日)まで 9:30 ~ 15:00

美幌博物館 受付 • 無料

対 象/ご本人あるいは同伴者にスノーシューの経験がある方、 靴のサイズ 24.5cm ~ 28.5cm (18 才未満は保護者同伴) 申込み/申込み不要。先着5名。

#### プチエ房「化石発掘体験」

3/7 金、8 仕 10:00 ~ 12:00、14:00 ~ 16:00 自由入室で作品 ができな 24:00 ~ 16:00 自由入室で作品 ができな 24:00 ~ 16:00 自由入室で作品 14:00 ~ 16:00 自由入室 14:00 ~ 16:00 美幌博物館1階講座室・300円 講師一町田善康(美幌博物館) 対 象/どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴) 申込み/申込み不要

#### 博物館講座(総合編)「私たちのふるさと情報」

3/29 生 10:00-12:00

美幌博物館 2 階 視聴覚室

講師/美幌高等学校農業クラブ、酒井治己氏(水産大学校)、美幌博物 館学芸員

対 象/中学生以上(小学生以下は保護者同伴) 申込み/不要です。直接会場へお越しください。

#### 送付先の変更、または停止などをご希望の場合

お引越しなどでご住所が変わられた、あるいは送付を止めてほしいなどの ご希望がございましたら、美幌博物館までお知らせください。









#### Tweet つぶやき

20 代の頃に読んだある作家のエッセイに、四十肩のことが書かれてい  $_{[発 7]}$   $_{\mathrm{fl},\mathrm{gle}}$   $_{\mathrm{fl},\mathrm{gle}}$ 

ました。当時は、40代って大変だなぁと思うくらいで、 読んだことすら忘れていました。最近、久しぶりにそのエッ セイを目にし、数年前に肩が痛かったのは、これか!と気 がつきました。五十肩は忘れないようにします。(城坂結実)

#### 美幌博物館月刊情報誌 Green Letter

【デザイン】城坂結実

集】城坂結実・八重柏誠 【お問合せ】美幌博物館

> 〒 092-0002 北海道網走郡美幌町字美禽 253-4 Tel. 0152 (72) 2160 Fax. 0152 (72) 2162

